



吉野ヶ里町

ため池ハザードマップ

【保存版】

小池・新池・松ノ内ため池



小池全景



新池全景



松ノ内全景

令和3年3月作成

ため池ハザードマップに関するお問い合わせは

吉野ヶ里町役場 産業振興課 TEL: 0952-37-0347



1 大規模地震により堤防が破損、大雨で増水

・・・亀裂や堤防前面の滑落など

2 大雨等でため池の水位低下が困難

・・・亀裂や堤防前面の滑落箇所からの漏水など

決壊地点直下の地域の建物や車は押し流される可能性があります。

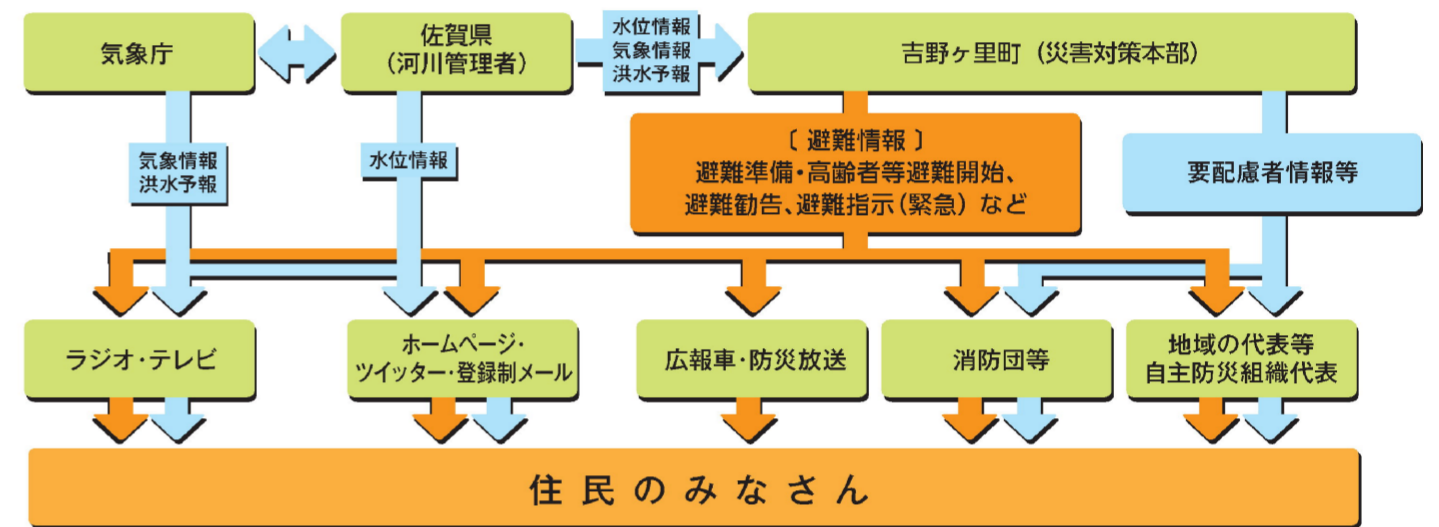
高台に避難してください！

町からの**避難情報**に注意しよう！



警戒レベル	住民が取るべき行動	避難情報等
警戒レベル 5 命を守るための最善の行動をとる。	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとります。	災害発生情報※1(町が発令) ※1 災害が実際に発生していることを把握した場合に可能な範囲で発令
警戒レベル 4 危険な場所から全員避難	速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難勧告、避難指示(緊急)※2(町が発令) ※2 地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合に発令
警戒レベル 3 危険な場所から高齢者等は避難	避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	避難準備・高齢者等避難開始(町が発令)
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報、大雨注意報など(気象庁が発令)
警戒レベル 1	災害への心構えを高めます。	早期注意情報(気象庁が発令)

● 気象情報や避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



避難勧告等がだされたら速やかに避難しよう



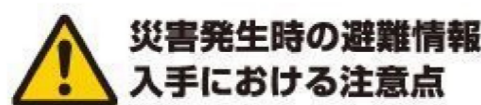
～早期避難のススメ～

避難は、可能な限り浸水被害が発生する前に行ってください。ため池の決壊後の避難は危険ですので、注意してください。



地震のあと

被災状況(防災無線の故障、広報車の通行不可、停電等)により、通常的手段を通じた情報の入手が困難になります。そのことを前提と考え、臆測やデマに惑わされず、冷静に事態に対応しましょう。



大雨のとき

大雨時は家屋内にいる場合が多く、防災無線・広報車の呼びかけが雨の音で聞こえにくい場合があります。テレビやラジオ、インターネットなどから、自主的な情報収集を心がけましょう。

地域防災力の向上に向けて

災害(大雨、洪水、地震)は必ず発生します。もしかすると、明日発生するかもしれません。将来予想される大規模な災害に対応するためには、自助・共助・公助の取り組みとともに、地域の防災力を向上させていくことが重要です。

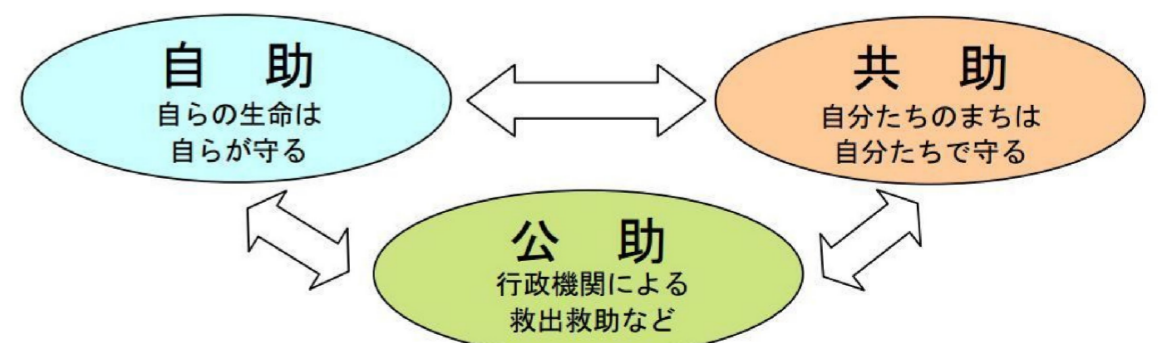
「災害を知る」「まちを知る」「人を知る」

- 災害をイメージして、日常から自分で対策を考えることが大切です。
- 1. **災害を知る**
「どれくらいの規模で、どのような災害の発生が予想されるか」
- 2. **まちを知る**
「災害時に安全な場所、危険な場所はどこにあるのか」
「何かあった場合にお世話になる場所や施設はどこにあるのか」
- 3. **人を知る**
「いざという時に頼りになる人はどこにいるのか」
「近所に手助けが必要な人はいないか」



「自助」「共助」「公助」

- 災害の被害を軽減するためには、「自助・共助・公助」連携が不可欠です。
- 1. **自助**
「自らの安全は、自らが守る」これが、防災の基本です。
- 2. **共助**
近所の人たちと協力して、お互いに助け合うこと。
- 3. **公助**
役場・警察・消防といった行政機関が取り組むこと。



それぞれが、災害対応力を高め、連携することが重要

地域防災力を高めることが、災害に強い地域を作る事に つながり、一人でも多くの命を救うことにつながります。

【保存版】
吉野ヶ里町ため池ハザードマップ
 小池、新池、松ノ内

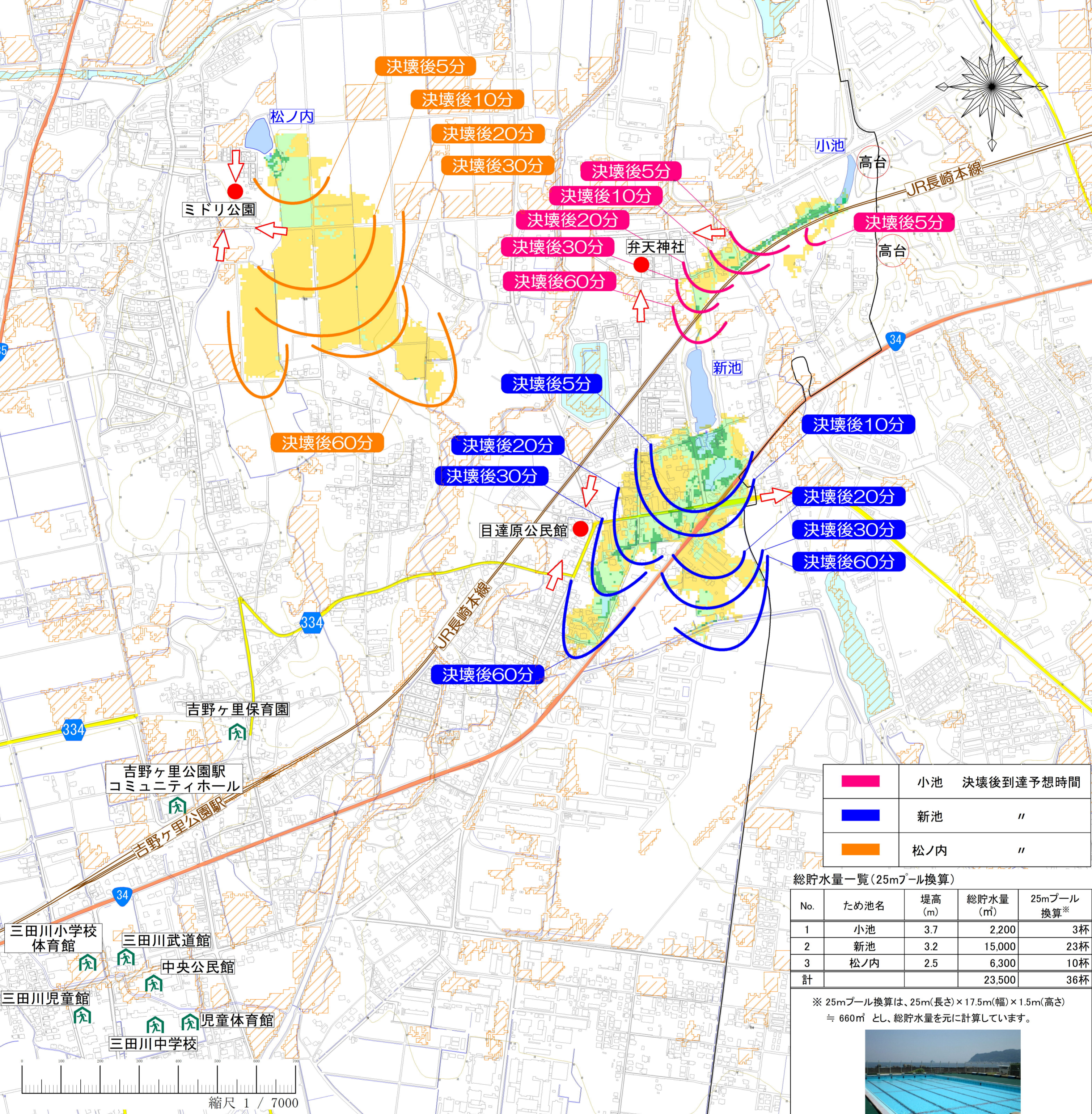
このマップは、ため池が決壊した場合にどのような被害となるかを知るために、ため池すべての貯水量が流出する状況を想定しています。このマップは、浸水の深さを色で示しています。表示されている範囲外でも、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

浸水深の目安

5.0m以上	屋根まで浸水
3.0m~5.0m	2階以上が浸水
2.0m~3.0m	1階以上が浸水
1.0m~2.0m	大人の頭まで
0.5m~1.0m	大人の腰まで
0.2m~0.5m	床下浸水
0.2m未満	

凡例

- 指定避難所(町指定)
- 避難場所(地区選定)
- 避難場所(高台)
- 避難方向(※4参照)
- 大雨時浸水注意区域



—	小池 決壊後到達予想時間
—	新池 〃
—	松ノ内 〃

総貯水量一覧(25mプール換算)

No.	ため池名	堤高(m)	総貯水量(m ³)	25mプール換算*
1	小池	3.7	2,200	3杯
2	新池	3.2	15,000	23杯
3	松ノ内	2.5	6,300	10杯
計			23,500	36杯

※ 25mプール換算は、25m(長さ)×17.5m(幅)×1.5m(高さ) ≒ 660m³ とし、総貯水量を元に計算しています。



25mプール イメージ写真[インターネットより]

緊急連絡先など (各自で記入してください)

区分	名前	電話番号	区分	名前	電話番号
行政	東脊振庁舎	(0952)-52-5111	警察署	神埼警察署	(0952)-52-2114
	三田川庁舎	(0952)-53-1111	(110)	三田川交番	(0952)-52-3331
	吉野ヶ里公園駅コミュニティホール	(0952)-55-8255	消防	神埼消防署	(0952)-52-3291
	吉野ヶ里保育園	(0952)-52-3024	(119)	吉野ヶ里出張所	(0952)-53-0541
	三田川小学校・体育館	(0952)-52-2768	地区	区長	
	三田川中学校	(0952)-52-2195		民生員	
	中央公民館	(0952)-37-0341			
	三田川武道館	(0952)-52-1944			
	児童体育館	(0952)-52-1944			
	三田川児童館	(0952)-53-1117			

- ※ 避難時の注意事項 簡条 (家族で避難時についての決め事などを事前に話しておきましょう。)
- 震度5強以上(目安)の地震時、または避難勧告等が出されたら速やかに避難する。
 - 可能ならば、家に留まらずに高台を目指して避難する。
 - まわりの浸水状況に十分注意しながら落ち着いて避難する。
 - 避難経路については、事前に確認する。
 -
 -
- 注: 5. 及び 6. については、各家庭で記入してください。

わが家の防災メモ (各家庭で記入してください。)

わが家の避難所: _____

家族の集合場所: _____

緊急時の連絡先:

家族の名前	生年月日	血液型	電話番号	会社・学校の電話番号